



PRESS RELEASE

2019年6月4日
株式会社オギノ

オギノ、山梨県の企業で初めて 地域環境保全功労者表彰を受賞

荒川ダムや富士山での12年間の環境保全活動が認められる

株式会社オギノ（本社所在地：山梨県甲府市、代表者：代表取締役社長 荻野 寛二、以下オギノという）は、山梨県に本社を置く企業として初めて、環境省が行う「地域環境保全功労者表彰」を受賞します。「地域環境保全功労者表彰」は、環境省が毎年6月の環境月間にあわせて、地域環境保全に関して、顕著な功績があった者（または団体）に対し、その功績をたたえるため、毎年度、環境大臣による表彰を行っているものです。

2019年6月12日（水）に環境省が主催する表彰式が行われる予定です。今回、「地域環境保全功労者表彰」を受賞する功績概要は、「平成19年より荒川ダム周辺の山林1.7haへの植林及び下草刈りを実施するとともに、平成26年より富士山3合目付近での植林や鹿食害防止ガード等の設置を行うなど環境保全に大きく貢献している。」です。

オギノは地域密着型の小売業として、資源循環型の持続可能な社会、自然と共存できる社会を目指し、「美しい山梨を次世代に引き継ぎたい」という環境方針のもと、2007年より、山梨県荒川ダム周辺にて植栽活動を始めました。又、2013年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）より世界文化遺産に登録された富士山を保全する為、2014年より、「富士山の森づくり」として、世界文化遺産の構成資産エリアで植栽活動を開始しました。いずれの活動とも、公益財団法人オイスカ（国際協力NGO、本部：東京都杉並区、以下オイスカという）、山梨県と協働で行ってきたもので、「富士山の森づくり」は、計5回実施しました。

また、本年においては、国際連合が定める2019年6月5日（水）「環境の日」に、富士山を保全する為、オイスカ、インド大使館、山梨県、鳴沢村、甲運小学校と協働で、150本の植樹を行います。マハトマ・ガンジー翁生誕150周年を記念してインド大使館より、オイスカを通じて「富士山の森づくり」活動に150本の苗木を寄贈されることになりました。インド大使館より大使代理として、首席公使ラジ・クマール・スリヴァスタヴァ氏を迎え、150本の植栽活動を実施します。又、道の駅なるさわ（所在地：山梨県南都留郡鳴沢村）にて各代表者による記念植樹と看板の設置も併せて行います。

オギノは、循環型の持続可能な社会を目指し、様々な環境活動を行っています。山梨県ノーレジ



袋推進連絡協議会に参加し、来店するお客様にマイバッグの利用を促進しています。昨年 1 年間の食品関連売場でのマイバッグ持参率は、86.9%でした。レジ袋収益金額は、1,517,313 円（レジ袋 1 枚 5 円で販売）で、この収益金額は「富士山の森づくり」に活用しています。さらに、店頭にペットボトル、トレー、缶、瓶、古紙などのリサイクルボックスを設置し、リサイクル活動にも注力しています。オギノは、今後も地域社会を支える小売業として、環境に配慮した活動を継続的に行います。

以 上

【表彰式概要】

日時： 2019 年 6 月 12 日（水） 10：30～12：30
場所： ホテルグランドアーク半蔵門（東京都千代田区隼町 1 - 1）
受賞者： 株式会社オギノ
出席者： 代表取締役社長 荻野 寛二